社說

海軍の經理法

今回の海軍擴張は第一期第二期を通じて[illegible]に完成の計畫にして其經費は二億一千餘萬圓の豫算なれども目下內外の形勢より見れば此計畫は尙ほ未だ不足の感を免かれざるが故に[illegible]更らに大に擴張するの[illegible]を認めざるを得ず我輩の敢て[illegible]む所にして此目的を達するには增稅も[illegible]可らずその負擔を國民に分つと同時に一方に於ては當局者に對し[illegible]用を要するものにして經理の一點は[illegible]も最も注意する所なり[illegible]費用は敢て吝む[illegible]に備ふるを必要なれども我輩の所謂有効力と云ふ[illegible]額の大なるのみに非ずして費用に[illegible]收めんと欲するのみ國民たるもの既に[illegible]めて之が爲めには增稅をも辭せず[illegible]本來現在の國力にては其費用は容易に辨ず可らざるも[illegible]するに足らざれども國民より支出したる巨萬の金を使用して如何なる軍備を備へ得可きやは當局者の責任にして其人々の心掛は甚だ大切なりと云ふ可し計畫の實際に至りては自から當局者の方寸に存して局外より云々するの限りに非ざれども其費用は國民より支出したる國財にして其國財を以て造りたる軍艦兵器は取りも直さず國有の財產にみそれば其國有財產を取扱ふ當局者の責任は決して輕からず一家の小經濟に於ても其經濟家たらず況んや巨萬の金を使用する海軍の經理法に至りては其當否の如何は非常の影響なきを得ず[illegible]の爲めの費用は敢て辭せざる所なれども實際に備へ得たる軍備は其費用に釣合はせて果して相當のものなりや否や即ち軍備の實際は其規模に釣合せて果して有効有力のものなりやの點は國民の最も關心する所にして當局者の責任輕からざる所以なり前年海軍部內に於ける會計の[illegible]世間に喧しく議論を起したる事もあり政府にても[illegible]を設けて整理に着手したるとの事なり實際の整頓如何は知らざれども曾て改革の必要ありしを見れば多少不整頓の事實はありしものと認めざるを得ず今日に至りては改革の事もあり又實際に會計法の規定もありて所謂不整理の事實は跡を絕ちたるならん敢て疑はざる所なれども我輩の聞く所に據れば今の經理法は年來不整頓の反動として寧ろ窮屈に失し實際に不便の事も往々少なからずと云ふ果して然るや否や國財の監督は嚴にして許す可らずと雖も徒に事を窮屈にして實に貴ぶ可き處に費さず俗に云ふ一文吝しみに陷るときは何事も捗らずして有効有力の實を收む可らず何れにしても當を得たるの監督とは云ふ可らず例へば士官の學問研究は最も大切なるに此研究の費用を出すことは甚だ吝にして、ラッセー年鑑一冊さへも容易に備ふることは能はざるが如き事實ありとなり又海軍人の生活費は陸軍人に比して自から多きの理由あるにも拘はらず其食料費の割合の如き陸軍よりも少なくして上下共に自費を以て辨ずるの場合など少なからざるか又[illegible]乏しく貧なれども日清戰爭中に全國の人民が[illegible]

○京都雜信

二月九日京都に於て[illegible]

大葬[illegible]

今回の御大葬に就[illegible]

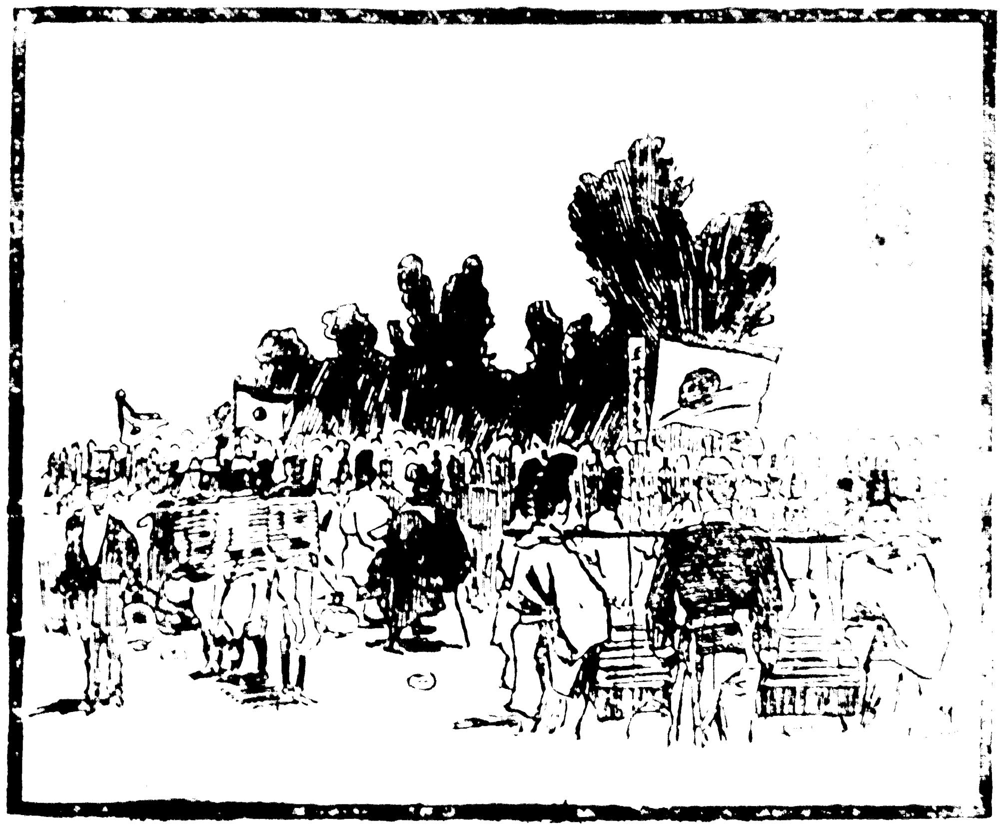
[illegible]

大喪主殿下には昨日御埋棺式を[illegible]

一時五十分泉山より還[illegible]

朝鮮大使は[illegible]

[illegible]



○御大葬雜俎

[illegible]